

JMS NOTES



「人と医療のあいだに・・・」

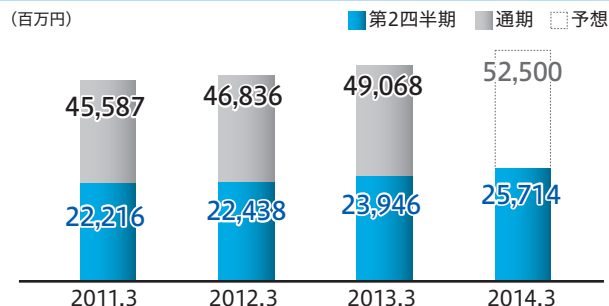
第49期 第2四半期事業のご報告

2013年(平成25年)4月1日～2013年(平成25年)9月30日

JMS
証券コード 7702

売上高

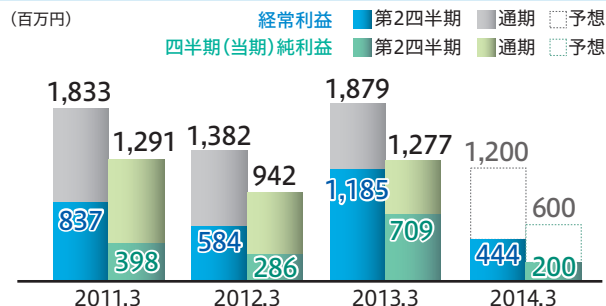
257億14百万円



経常利益

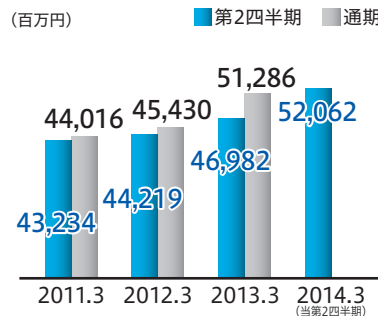
4億44百万円

四半期(当期)純利益 2億円



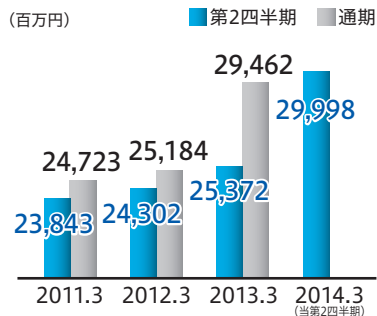
総資産

520億62百万円



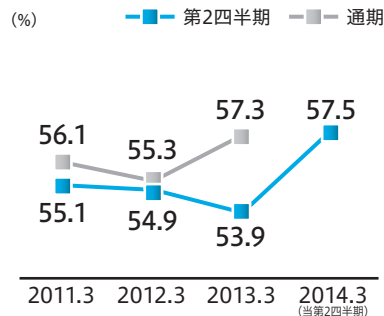
純資産

299億98百万円

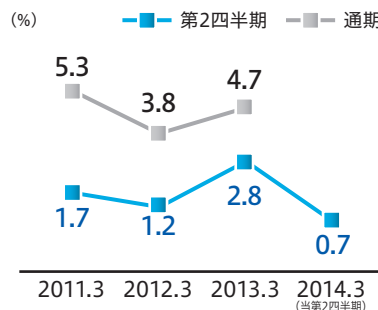


自己資本比率

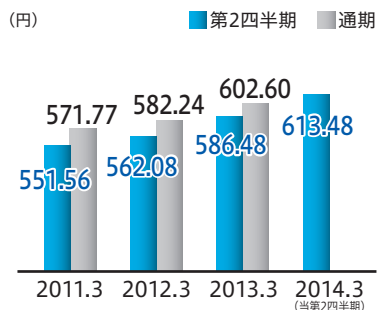
57.5%



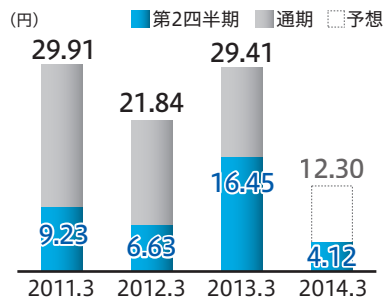
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE) 0.7%



1株当たり純資産 613円48銭



1株当たり四半期(当期)純利益 4円12銭



【見通しに関する注意事項】 上記予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、当社第49期第2四半期(2013年4月1日から2013年9月30日まで)のJMS NOTESをお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当社グループの業績につきましては、国内においては、医療の安全に貢献する輸液関連製品や医療用手袋の販売が堅調に推移しました。海外においては、成分献血用回路や誤穿刺防止機構付翼状針の販売が引き続き増加しました。

この結果、当第2四半期の売上高は、円安による為替換算の影響も加わり、前年同四半期に比べ17億68百万円増加の257億14百万円(前年同四半期比7.4%増)となりました。

利益につきましては、労務費の増加に加え、運送費や手数料などの販売費が増加したことから、営業利益は1億96百万円(同80.3%減)となりました。経常利益は、

海外での為替が有利に作用したことにより4億44百万円(同62.5%減)となり、税金費用などを差し引いた結果、四半期純利益は2億円(同71.7%減)となりました。

中間配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株につき4円とさせていただきます。

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、先進国をはじめ新興国の堅調な需要拡大を背景に、欧米大手各社が事業統合などにより規模の利益を追求するなど、企業間競争は厳しさを増しています。一方、国内においては、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しているものの、本格化する高齢社会に対応する医療機器や、再生医療をサポートする周辺機器の提供が求められるなど、新たな市場も現れつつあります。

このような環境において、当社グループは、「患者様第一主義」の企業理念に基づき、お客様に感動を与える製品とサービスの提供を目指し、これからも患者様の安心や医療従事者の皆様の負担軽減など、医療における安全と効率化に貢献する製品を提供してまいります。

株主の皆様には、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

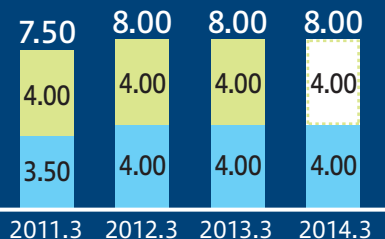
代表取締役社長
奥窪 宏章



配当金の推移

■ 期末
■ 中間
■ 予想

(単位:円)



》》 所在地別

日本

売上高 **193億81百万円**

(外部顧客への売上高 173億67百万円)



2012.9 2013.9

輸液関連製品や医療用手袋の販売が堅調に推移したものの、血液透析装置及びその付属機器の販売が減少しました。

セグメント利益 **1億88百万円**



2012.9 2013.9

増産対応のための自動化設備の増設に伴う償却負担のほか、手数料などの販売費が一時的に増加しました。

(注)セグメント利益は、経常利益ベースの数値であります。

東南アジア

売上高 **85億46百万円**

(外部顧客への売上高 41億80百万円)



2012.9 2013.9

日本向けの人工腎臓用血液回路の販売が減少したものの、米国向けの成分献血用回路の販売が引き続き好調に推移しました。

セグメント利益 **△14百万円**



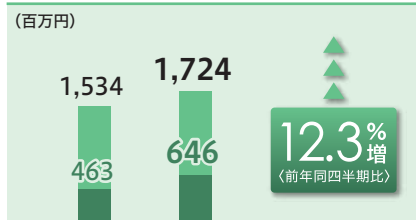
2012.9 2013.9

労務費の増加などにより損失となりました。

中国

売上高 **17億24百万円**

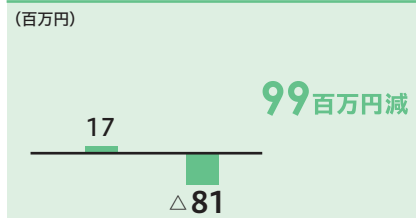
(外部顧客への売上高 6億46百万円)



2012.9 2013.9

日本向けの輸液セットが減少したものの、欧米向け及び中国国内向けのAVF針の販売が引き続き伸長しました。

セグメント利益 **△81百万円**



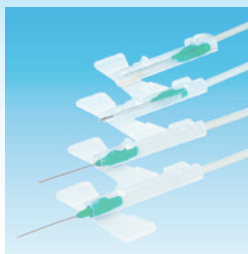
2012.9 2013.9

為替による円建ての売上金額の減少により損失となりました。

製品紹介

■ 誤穿刺防止機構付翼状針

静脈注射や採血、点滴に使用するチューブがついた注射針で、固定しやすい形状になっています。使用後、チューブを引くと針先が本体に収納され、針刺し事故を防止します。



■ 医療用手袋(手術用・検査・検診用)

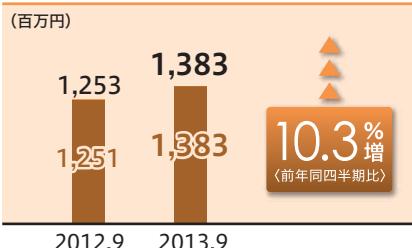
手術や検査などを行う際に使用される手袋です。天然ゴム製のほか、アレルギーを持つ方々のために合成ゴム製も取り揃えています。



ドイツ

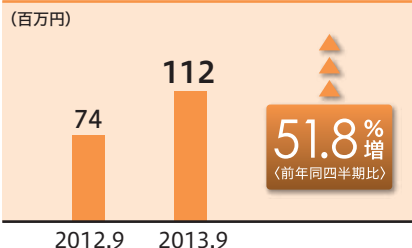
売上高 **13億83百万円**

(外部顧客への売上高 13億83百万円)



ドイツ国内向けの血液浄化関連製品の販売が堅調に推移しました。

セグメント利益 **1億12百万円**

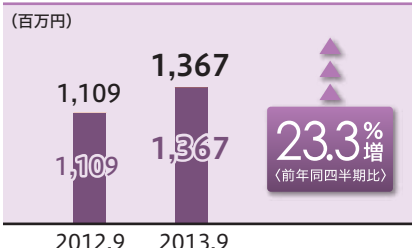


為替による円建ての仕入金額の減少により増加しました。

アメリカ

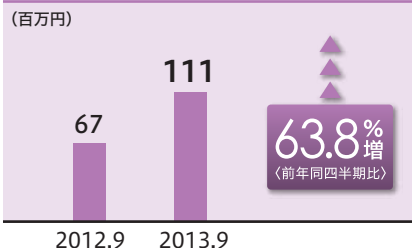
売上高 **13億67百万円**

(外部顧客への売上高 13億67百万円)



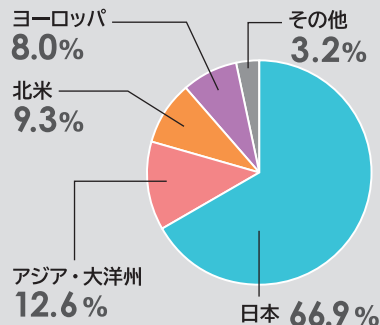
北米向けの誤穿刺防止機構付翼状針の販売が引き続き増加しました。

セグメント利益 **1億11百万円**

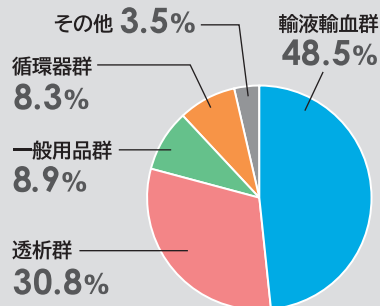


所有株式の配当金受取により増加しました。

》》》 地域別売上高構成比



》》》 システム別売上高構成比



輸液輸血群

輸液セット、経腸栄養システム製品、血液バッグ、成分献血用回路、シリンジ(注射筒)、注射針 他

透析群

血液透析装置、人工腎臓用血液回路、AVF針、プレフィルドシリンジ製剤、腹膜透析液 他

一般用品群

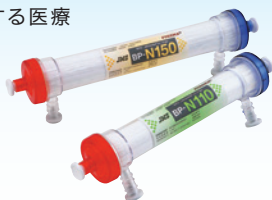
医療用手袋、不織布製品 他

循環器群

膜型人工肺、ペースメーカー、人工心肺装置、人工心肺回路、血管造影用・治療用カテーテル 他

■ 人工腎臓(ダイアライザー)

血液から余分な水分や老廃物を取り除く腎臓の機能を中空糸という人工の膜を使用して代替する医療機器です。



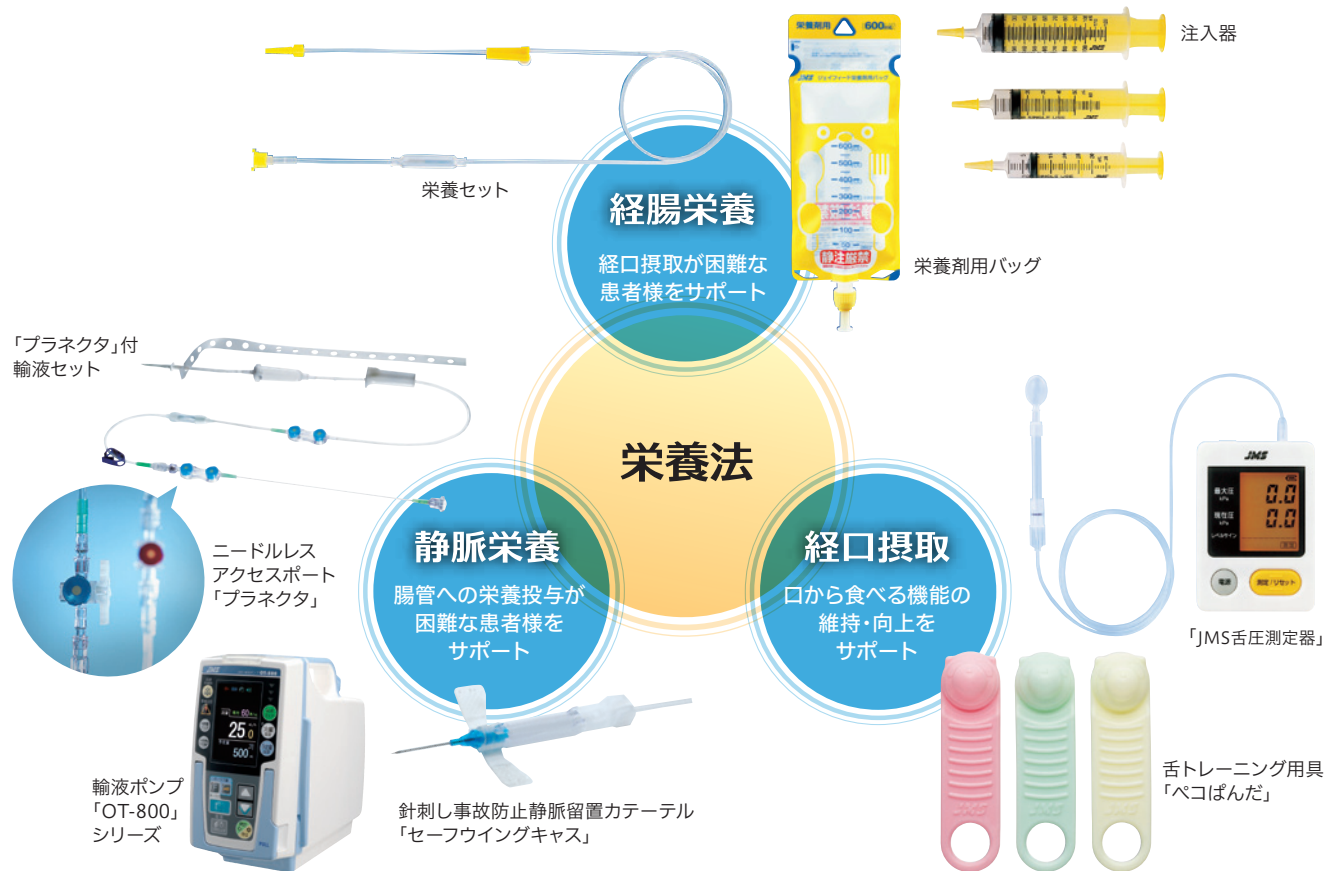
■ プレコネクティング心肺回路

さまざまな医療機器とチューブを接続し、事前に回路をセットアップしています。セットアップ時の手間の解消、誤接続や汚染の防止だけでなく、包材の少量化により廃棄物量も低減します。



JMSは栄養法のトータルコーディネーターです。

当社は、消化器系疾患や術後の患者様などに向けた静脈・経腸栄養製品はもとより、経口摂取サポート製品もご用意。今回は、健康で充実した日々を送っていただくために、口から食べることの大切さや、そのために必要な機能の向上をサポートする製品をご紹介します。



静脈栄養

経腸栄養

経口摂取

より自然な栄養摂取

JMSとともに健康生活の新たなステージへ

■「口から食べる」ということ…

私たちの脳には摂食中枢があり、脳からの指令によって口から食べ物を取り込み、咀嚼（そしゃく）、飲み込んで胃や腸に送っています。胃や腸で消化・吸収された栄養素は、体内で分解されて、生きるために必要なエネルギーとなります。

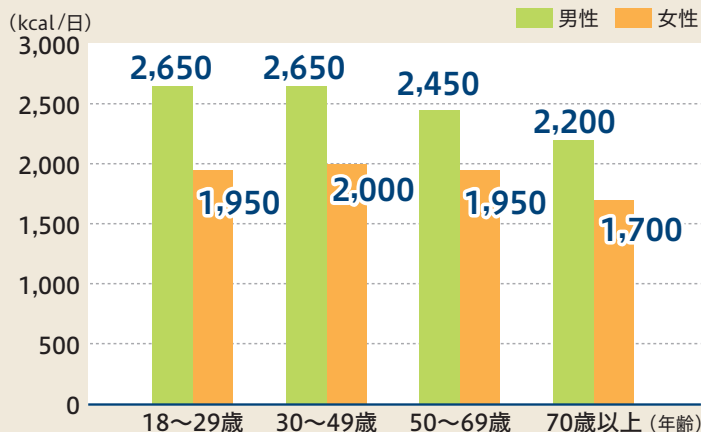
また、「口から食べる」ことで、旬の食べ物の味や香りを直接感じることができ、精神的な安定にもつながるなど、これら一連の良好な栄養環境の中に、人は喜びを見いだしているといわれています。

■食べる機能の維持・向上が 栄養法の第一歩

脳梗塞の後遺症や術後、加齢などによって食べ物を口から摂りにくくなると、人が生きていく上で必要な栄養量が不足し、体脂肪をはじめ筋肉量や筋力、病原菌に対する抵抗力が低下しやすくなります。

こうした事態を防ぐためにも「口から食べる」機能をできるだけ長く維持していただきたい。それには日常的に口腔や食道、消化器官における食べる機能の維持・向上が必要であり、そこから健康への第一歩が始まると私たちは考えています。

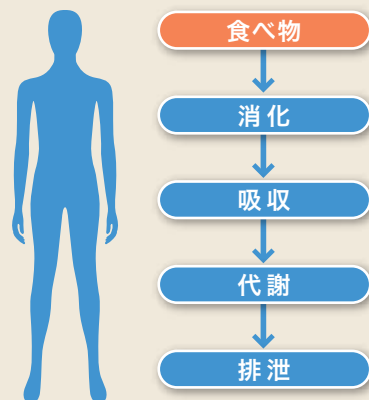
■ 日本人の1日当たりのエネルギー必要量



【対象】身体活動レベルが中程度の人

【参考】厚生労働省策定「日本人の食事摂取基準2010年版」

■ 生命活動の維持



代謝

体内に消化・吸収された物質が
エネルギーや栄養素に変化すること

舌トレーニング用具「ペコぱんだ」 ペコッ! ペコッ! と舌で押してトレーニング!

「口から食べる喜び」「食べ物の味を楽しむ生活」を取り戻してほしい!

私たちはふだん何気なく口から食べたり飲んだりして、旬の食物の味や香りを楽しみながら日々を過ごしています。

ところが脳血管障害、神経・筋疾患などの疾病や加齢にともない舌や喉の筋力が低下した方は、「食べたくても舌や喉がうまく動かなくて食べ物が飲み込めない」「食べ物が気管に入って肺炎になった」ということが起こります。そこでこの度、飲み込みに必要な舌の筋力を鍛えるトレーニング用具「ペコぱんだ」を開発しました。

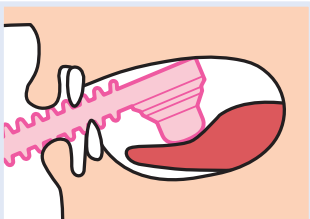


❖ ペコッペコッ押して舌筋トレーニング

舌を上強く押し上げるトレーニングにより、低下した舌の筋力が強化され、口や飲み込みに必要な機能の維持・向上につながることが期待されています。

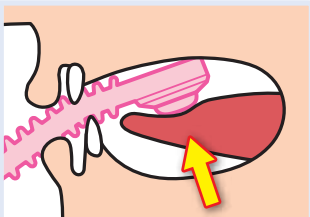
1

「ペコぱんだ」のトレーニング部を舌の上に乗せて位置決め部を歯でくわえます。

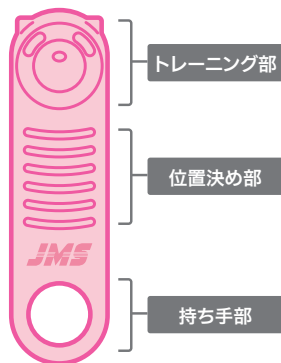


2

舌でトレーニング部を押し上げます。

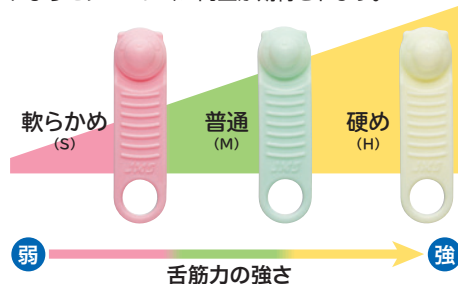


「ペコぱんだ」の仕様



〈硬さは3タイプ〉

使用される方の状態やトレーニングの目的に合わせて選べます。回復度合いに応じてレベルアップすることによりモチベーション向上が期待されます。

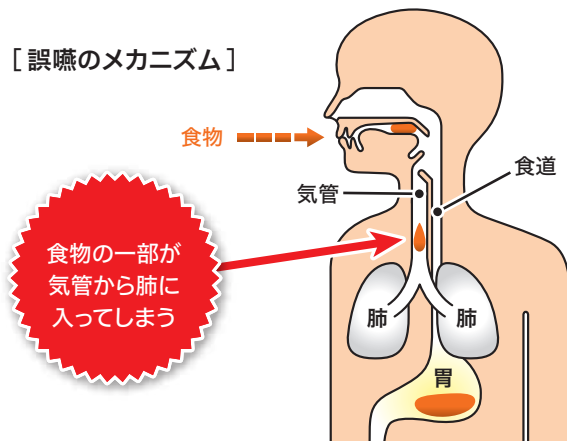


押しつぶしの感触 トレーニング部を舌で押し潰す感触が振動として伝わります。

❖ 誤嚥性肺炎とは

飲み込みがうまくできない病後の患者様や高齢者の中には、食物の一部が誤って気管に入って肺炎を発症することがあり、これを誤嚥性肺炎といいます。

【誤嚥のメカニズム】



トレーニングのおかげで
食べ物の飲み込みが楽になり、
食事を楽しめるようになった。

「ペコぱんだ」を舌で押すと、
舌に振動が伝わってきて
トレーニングを実感できた。



広島県モデル事業で訓練の成果が実証されました。

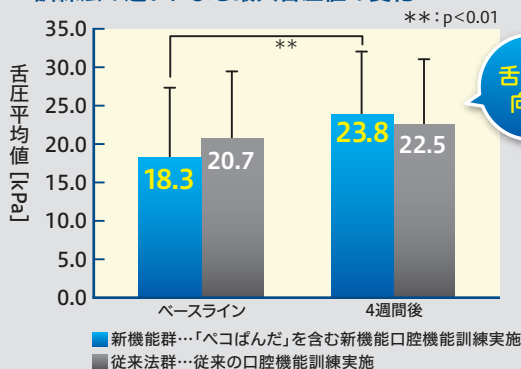
「舌筋等トレーニングによる口腔機能維持・向上モデル事業」

摂食・嚥下（えんげ）機能に関する口腔機能の維持・向上を目的とした広島県のモデル事業として、7施設の高齢者を対象に、当社の「ペコぱんだ」、「舌圧測定器」などを用いたトレーニング効果モデルの検証が行われました。

実施期日 ▶ 2012年11月1日～2013年3月31日

参加者 ▶ 約140名（嚥下機能に問題のある要介護・要支援高齢者）

■ 訓練法の違いによる最大舌圧値の変化



【標準的な舌圧値】

舌圧値は個人差があり男性・女性でも異なります。平均して、成人男性は45kPa(±10kPa)、成人女性37kPa(±9kPa)・舌圧値が20kPaを下回ると嚥下障害の可能性が高まるといわれています。

(広島大学歯学部調査報告より)

大切な血液を必要とされる患者様のもとへ

日本赤十字社との連携を深めて国内の血液事業をサポートしていきます。

▶ 日本赤十字社に 献血用血液バッグの提供を開始

このたび当社は、医療機器・医薬品の開発・製造で培った技術を活用して、献血の際に使用される血液バッグ(白血球除去フィルター付血液バッグ※1)を開発。2013年11月より日本赤十字社に提供を開始しました。

日本赤十字社は国内の血液事業の担い手であり、献血によって提供された血液を血液センターで血液製剤化※2して、手術や治療で血液を必要とする医療の現場に供給しています。

当社は、献血用血液バッグの提供を通じて、日本における血液事業の安定的な運営と医療の安全性の向上に寄与してまいります。

▶ JMSにおける献血への取り組み

当社では、広島本社や各工場で従業員を対象とした献血を毎年定期的に行っています。今後も継続して献血に協力し、社会に貢献してまいります。



献血バス



献血の様子



献血用血液バッグ

海外で多くの実績を持つ
フレゼニウス カービ ジャパン社の
白血球除去フィルターを採用

国が進める「献血推進2014」キャンペーン

いま、医療現場では将来の少子高齢化に伴う献血率の低下と輸血医療の増加が懸念されています。もし、2009年の献血率(献血可能人口の5.9%)のまま少子高齢化が進展すると、2027年には献血者101万人分の血液が不足するというデータ※3も示されています。

日本赤十字社と厚生労働省はこうした事態に備えるため、輸血用血液製剤の適正使用を進める一方、①若年層の献血者数の増加 ②企業・団体など安定的な集団献血の確保 ③複数回献血者の増加を目標とした「献血推進2014」に取り組んでいます。

※1 輸血後の副作用のリスクを低減させるため、白血球を取り除くフィルターを装備した血液バッグ。

※2 人の血液から作られる医薬品。輸血では、血液中に含まれる成分ごとに分離した成分製剤(赤血球製剤、血漿製剤、血小板製剤など)が主に使用される。

※3 日本赤十字社による血液需要将来シミュレーションに基づく。

事業領域の拡大とラインナップ強化

顧客ニーズに対応した新製品を投入し市場の拡大に努めています。

▶ 医療用弾性ストッキング 「レッグサイエンス舞」

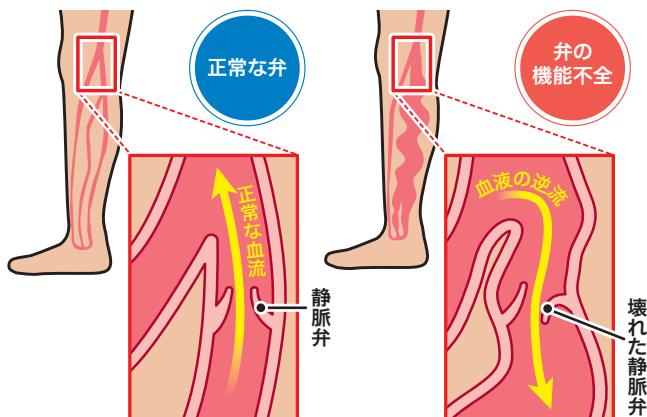
2013年7月、病院、調剤薬局等に向けて主に下肢静脈瘤の圧迫療法に使用される、医療用弾性ストッキング「レッグサイエンス舞」を販売開始しました。下肢静脈瘤とは、足（下肢）の静脈が拡張して「瘤（こぶ）」のように膨らむ症状です。足の静脈には、血液を重力に逆らって心臓に送り返すため静脈弁（逆流防止弁）が備わっていますが、長時間、筋肉をあまり動かさないでいると静脈に血液が滞留して静脈弁に負担がかかりその機能を低下させます。

「レッグサイエンス舞」は、下肢を適度に圧迫する機能を持ったストッキングで、医師の診断のもと正しく着用することで症状の軽減・予防効果が期待されています。



「レッグサイエンス舞」
カラーは2色
(ブラック、ビュアベージュ)

下肢静脈瘤のメカニズム



▶ AED(自動体外式除細動器) 「ジェイパッドCU-SP1」

2013年10月、AED「ジェイパッドCU-SP1」を販売開始しました。AEDは、心臓で心室細動※が生じた際に、心臓に一瞬、電気ショックを与えて正常な状態に戻す医療機器です。当製品には、音声ガイダンスの音量を自動調整する機能を搭載（業界初）したほか、操作手順をイラストで表示するなど、初めての人でも安全・確実に操作できる工夫が施されています。AEDは公共の場での設置が進んでいますが、将来的には住居エリアなどの身近な場所への設置も想定され、今後の市場拡大が期待されています。



「ジェイパッドCU-SP1」

※ 心臓の筋肉がけいれんして不規則に収縮を繰り返す状態

▶ 手術用手袋 「ガメックス パウダーフリーAF マイクロ」

2013年10月、アレルギーの原因物質を含まない手術用手袋「ガメックス パウダーフリーAF マイクロ」を販売開始しました。医療現場では、治療・処置の際に着用する手袋がもとでアレルギー性皮膚炎に悩まされる医療従事者の方が少なくありません。アレルギー症状の原因のひとつには、多くの手袋の製造過程で液状の原料をシート状に固化するために添加される化学物質・加硫促進剤があります。

この度、当社は加硫促進剤を含まない手袋をラインナップに追加。今後もアレルギー症状の予防など、より良い医療環境づくりに貢献してまいります。

「ガメックス パウダーフリーAF マイクロ」



■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前連結会計 年度末 2013年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2013年9月30日現在
《資産の部》		
流動資産 —①	31,044	30,868
現金及び預金	4,153	3,954
受取手形及び売掛金	15,026	14,382
たな卸資産	10,759	11,519
その他	1,104	1,012
固定資産 —②	20,241	21,193
有形固定資産	16,029	16,853
無形固定資産	734	766
投資その他の資産	3,477	3,573
資産合計	51,286	52,062

科 目	前連結会計 年度末 2013年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間 2013年9月30日現在
《負債の部》		
流動負債 —③	17,886	17,298
固定負債 —④	3,936	4,765
負債合計	21,823	22,064
《純資産の部》		
株主資本	30,189	30,192
その他の包括利益累計額	△798	△275
少数株主持分	71	80
純資産合計 —⑤	29,462	29,998
負債純資産合計	51,286	52,062

POINT 解説

① 流動資産 [前連結会計年度末に比べ
1億75百万円減少]

・受取手形及び売掛金が減少しました。

② 固定資産 [前連結会計年度末に比べ
9億51百万円増加]

・有形固定資産が増加しました。

③ 流動負債 [前連結会計年度末に比べ
5億88百万円減少]

・未払法人税等が減少しました。

④ 固定負債 [前連結会計年度末に比べ
8億29百万円増加]

・長期借入金が増加しました。

⑤ 純資産 [前連結会計年度末に比べ
5億36百万円増加]

・為替換算調整勘定が増加しました。

(注)金額につきましては、百万円未満を切り捨てて記載しております。

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日～ 2013年9月30日
売上高 — ⑥	23,946	25,714
売上原価	17,092	19,147
売上総利益	6,853	6,567
販売費及び一般管理費	5,859	6,371
営業利益 — ⑦	994	196
営業外収益	262	345
営業外費用	70	98
経常利益	1,185	444
特別利益	1	2
特別損失	66	48
税金等調整前四半期純利益	1,120	398
法人税等	402	194
少数株主損益調整前四半期純利益	717	204
少数株主利益	7	3
四半期純利益	709	200

》》》 POINT 解説

⑥ 売上高

〔前年同四半期に比べ
17億68百万円増加〕

・地域別では東南アジア及びアメリカでの販売、システム別では輸液輸血群の販売が増加しました。

⑦ 営業利益

〔前年同四半期に比べ
7億97百万円減少〕

・海外生産工場の労務費の増加に加え、運送費や手数料等の販売費が増加しました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2012年4月1日～ 2012年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2013年4月1日～ 2013年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,874	647
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,553	△2,575
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,128	1,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	89
現金及び現金同等物の増減額 (減少:△)	1,340	△200
現金及び現金同等物の期首残高	3,468	4,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,809	3,952

》》》 POINT 解説

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー 〔前年同四半期に比べ
12億27百万円減少〕

・税金等調整前四半期純利益の減少によるものです。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー 〔前年同四半期に比べ
10億22百万円増加〕

・有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものです。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー 〔前年同四半期に比べ
5億10百万円増加〕

・借入金の収支差額によるものです。

(注)金額につきましては、百万円未満を切り捨てて記載しております。

会社概要

(2013年9月30日現在)

■当社の概要

設 立	1965年(昭和40年)6月12日
資 本 金	7,411,014,445円
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード:7702)
主要な事業内容	医療機器、医薬品の製造・販売 及び輸出並びに輸入
従 業 員 数	1,619人 (グループ総数 6,669人)

■役員

代表取締役社長	奥村 隆 宏	監 査 役	池内 和 朗
専 務 取 締 役	村上 宏 純	執行役員	藤 雅 一
取 締 役	国 富 純	執行役員	井 彰 博
取 締 役	泉 和 雄	執行役員	藤 井 義 彦
取 締 役	森 川 重 美	執行役員	土 西 義 実
取 締 役	栗 根 康 浩	執行役員	中 岩 良 夫
取 締 役	佐 藤 雅 文	執行役員	近 遠 正 樹
取 締 役	桂 井 明 彦	執行役員	笠 岡 正 明
取 締 役	井 口 昇 万	執行役員	石 井 正 吾
監 査 役(常 勤)	兼 口 康 三	執行役員	
監 査 役	林 原 幸 雄	執行役員	
監 査 役	早稲田 幸 雄	執行役員	

※井口明彦氏は、社外取締役であります。

※林原康三氏、早稲田幸雄氏、池村和朗氏は、社外監査役であります。

株式概要

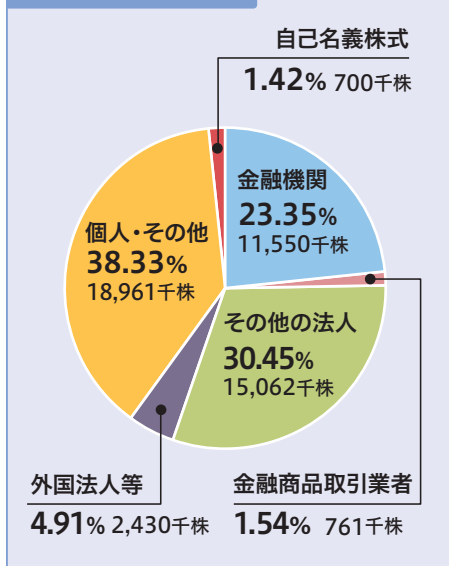
(2013年9月30日現在)

- 発行可能株式総数…100,000,000株
- 発行済株式総数……49,466,932株
(自己株式 700,267株を含む)
- 株主数 …………… 5,981名

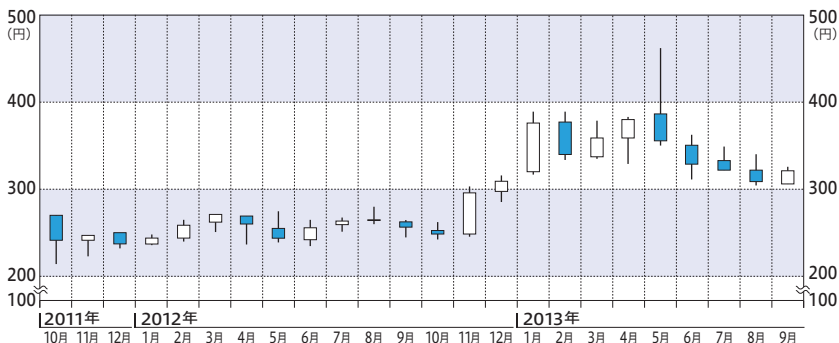
■大株主の状況(上位10名) (注)持株比率は、自己株式(700,267株)を控除して計算しております。

【株主名】	【持株数(千株)】	【持株比率(%)】
株式会社カネカ	4,947	10.14
一般財団法人土谷記念医学振興基金	3,800	7.79
土谷佐枝子	2,015	4.13
社会福祉法人千寿会	2,000	4.10
株式会社広島銀行	1,790	3.67
第一生命保険株式会社	1,722	3.53
大下産業株式会社	1,142	2.34
JMS共栄会	901	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	846	1.73
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	779	1.60

所有者別分布状況



■株価推移



グローバル展開を推進するために、生産拠点・販売拠点を各地域に設置し、事業活動を行っています。

海外ネットワーク

子会社

- ① 株式会社 韓国メディカル・サプライ
医療機器の製造・販売
- ② ジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD.
医療機器・医薬品の製造・販売
<http://www.jmss.com.sg/>
- ③ 大連ジェイ・エム・エス医療器具 有限公司
医療機器の製造・販売
<http://www.jmsdl.com/>
- ④ ジェイ・エム・エス・ノース・アメリカ・コーポレーション
医療機器の販売
<http://www.jmsna.net/>
- ⑤ バイオニック・メディツインテックGmbH
医療機器・医薬品の販売
<http://www.bionic-jms.com/>
- ⑥ PT. ジェイ・エム・エス・バタム
医療機器の製造



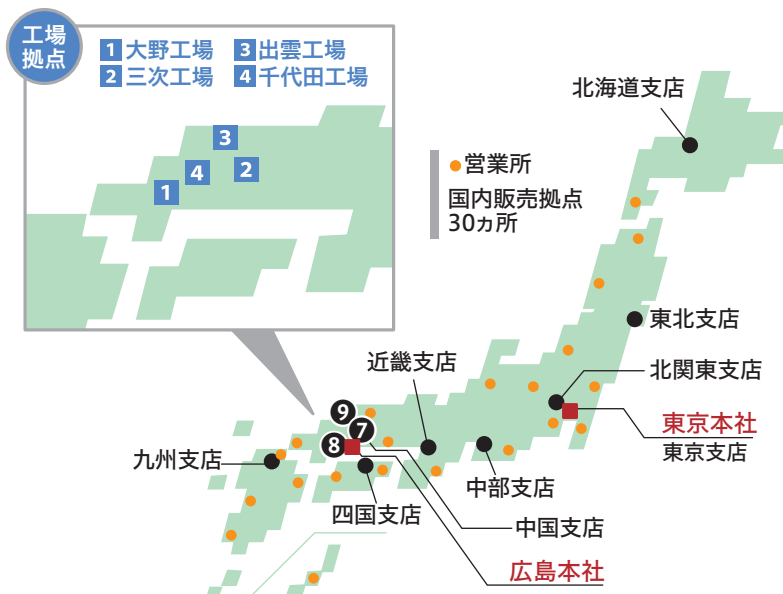
国内ネットワーク

子会社

- ⑦ ジェイ・エム・エス・サービス 株式会社
医療機器の修理等
- ⑧ 株式会社 大野
業務請負業

関連会社

- ⑨ 株式会社 ジェイ・オー・ファーマ
医薬品の製造・販売
<http://www.jo-pharma.co.jp/>



株主メモ 証券コード: 7702

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel.0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告とする。
(<http://www.jms.cc/ir/denshi.html>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



JMS WEBサイトのご案内

当社の経営方針から主な製品、研究開発、IR、腹膜透析等の医療情報まで、多彩な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

▶▶▶ <http://www.jms.cc/> 株式会社JMS 検索



株式会社 JMS

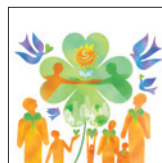
広島本社 〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
TEL 082-243-5844 FAX 082-243-5997

東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号 新南大井ビル
TEL 03-6404-0600 FAX 03-6404-0610

ホームページ <http://www.jms.cc/>

【表紙デザイン】

テーマ「幸せの集まる場所」



幸せの象徴でもあるクローバーをキービジュアルに構成。クローバーの形はハートの集合でもあり、あたたかい心を通わせることで人々の暮らしが幸せの集まる場所にしたいというメッセージを込めました。

UD FONT
見やすいユニバーサルフォントを採用しています。